

事業所名 ちむ

支援プログラム

作成日 2025年 3月 5日

法人(事業所)理念		・本人支援・家族支援・地域支援を3本柱とし、利用者とそのご家族の想いに寄り添いながら、安心して笑顔で成長できる環境を築きます。				
支援方針		①一人ひとりの特性や発達段階に合わせた支援をします。 ②得意なことや興味のあることを尊重し、学びや遊びの機会を提供することで、楽しく自発的に活動に参加することができるよう支援します。 ③それぞれが輝ける場面や場所を提供し、自己肯定感や自己有用感を高める支援をします。 ④他者との関りを通じて、社会性やコミュニケーション能力の向上を図ることができるように支援します。				
営業時間		月曜～土曜：9時～18時	サービス提供時間	学校日(平日)：11時～17時 学休日(土曜・長期休み)：9時～16時	送迎実施の有無	あり なし ※場所によっては難しい場合がございます。
本人支援	健康・生活	<b>【健康状態の把握と対応】【生活習慣や生活リズムの形成】に関する支援プログラム。</b> ○体温測定や水分補給を促しながら体調確認を行い、安心して安全に活動に取り組めるよう支援します。 ○手洗い・うがい・排泄など、日常生活における支援を行うとともに、身近のことを自身で行う機会を増やし、自立に向けて自信をもって活動できるように支援します。 ○未就園児には家庭と連携し、離乳食・トイレトレーニングを進めていけるよう支援します。 ○1日の流れやタスクを理解し、見通しを持って行動できるように、掲示物を用いて自主的に行動できるように支援します。 <b>【気持ちの切り替え】【マネジメントスキル】に関する支援プログラム。</b> ○感情カードや表情イラストを活用し視覚的に示すことで、自身の感情や気持ちに気付くことができるように支援します。 ○活動の切り替え場面では、時計・タイマー・言葉掛け等、段階に応じて自主的な取り組みの手がかりになるように支援します。 ○優先順位を考えたり、自身の気持ちや出来事をスタッフに報告・連絡・相談する習慣を身につけることができるように支援します。				
	運動・感覚	<b>【姿勢と運動・動作における基本的技能の向上】に関する支援プログラム。</b> ○学習時における正しい姿勢の保持や、日常生活や場面ごとに応じた身体の動かし方を習得できるように支援します。 ○指先を使った遊び(粘土やプラレール、シール貼り等)を通して巧緻性を高めるように支援します。 ○公園遊び、レクリエーション活動を通して、心身ともに健康的な発育の促進を促します。 ○感覚や認知の特性(過敏や鈍麻)を踏まえ、利用者が安心して事業所で活動を行えるように支援します。				
	認知・行動	<b>【感覚や認知の活用】に関する支援プログラム。</b> ○視覚、聴覚、触覚等の感覚を十分活用して、必要な情報を収集して認知機能の発達を促す支援をします。 ○環境から情報を取得し、そこから必要なメッセージを選択し、行動につなげるという一連の認知過程の発達を支援します。 ○認知の特性を踏まえ、自身に入ってくる情報を適切に処理できるように支援し、認知の偏り等の個々の特性に配慮して支援します。 <b>【概念の形成】に関する支援プログラム。</b> ○戸外散策や療育活動を通して五感に働きかけを行い、物質の認知形成と空間や時間の概念の形成を図ることができるように支援します。				
	言語 コミュニケーション	<b>【言語の獲得と表出】【コミュニケーション能力の向上】に関する支援プログラム。</b> ○具体的な事物と言葉を結びつけたり、発声を行うための訓練、指導員の言葉掛け等のサポートを通して、体系的な言語の習得や自発的な発声を行う事ができるように支援します。 ○集団遊び、戸外活動、レクリエーション等、事業所の活動を通して他者と触れ合う機会を意図的に設け、コミュニケーション能力の向上を目指します。 ○学習やSSTでは、「文字の習得」「感情理解」「他者理解」「基本的なコミュニケーション方法の習得、活用」することができるように支援します。 ○絵カード、手話、マカトンサイン、ジェスチャー、指さしなど、利用者の特性に応じたコミュニケーション方法を確立し、活用することができるように支援します。				
	人間関係 社会性	<b>【他者との関わり方】【集団活動への参加】に関する支援プログラム。</b> ○一人遊びの状態から並行遊び、支援者が介入して行う連合的な遊び、役割分担やルールを守って遊ぶ協同遊びを通して、社会性が向上するように支援します。 ○集団遊び、戸外活動、レクリエーション等、事業所の活動を通して他者と触れ合う機会を設け、SSTの実践の場として社会性や他者との関係性作りの力を養います。 ○手順やルール、手本を支援者や子ども自身が提示し理解することで、主体的に活動に参加したり、楽しみを共有したりすることができるように支援します。 <b>【社会性の向上】に関する支援プログラム。</b> ○他者との関りや集団活動を通し、他者への認識を図ったり楽しさを共有したりしながら、ルール理解や他者理解、社会性が向上するように支援します。 ○事業所や活動先での決まり事、社会の中で守られるべきルールやマナーを学び、イラストにてSSTを取り入れ、視覚化し、社会性が向上するように支援します。				
家族支援	○モニタリング(面談)を計画的に行います。 ○事業所での活動の様子やご家庭での様子を保護者・ご家族の方と情報を共有しながら、保護者・ご家族の方の心配・困りごと等へ相談・助言できるよう月に1度相談の場を設けております。 ○関係機関と連携や調整を図り支援します。 ○レスパイトや就労等の預かりニーズに対応するための支援を行います。		移行支援	○就学や移行先と連携・情報共有を行い、支援・サポートします。 ○具体的な移行を想定した専門職による発達評価をします。 ○関係機関との密な連携、担当者会議の開催や参加をします。		
地域支援・地域連携	○地域の連絡協議会、担当者会議に参加し、他事業所や学校と連携しながら支援します。 ○地域の公共施設を利用したり行事やイベントに参加することで、地域の資源を活用しながら支援します。 ○保育所、学校、医療機関等との連携や調整、支援方法や環境調整を行います。		職員の質の向上	○毎日オンライン研修を受講する体制を構築し、着実にスキルアップできるようにしています。 ○社内研修、1on1ミーティングを行い、自己成長やキャリアの方向性、支援の手立てを見つかるサポートをしています。 ○資格の取得、外部研修費等の補助を行っています。 ○定期的に会議を設け、手立ての共有や支援方法を共有しています。		
主な行事等		○季節に応じた行事(クリスマス会、夏祭り、節分、制作物の作成等)を行っています。 ○法人内外の事業所が集まって年に数回フットサル場にて夏祭り等のイベントを行い、交流の場を設けています。				